

教科	国語	学年	第2学年	担当者	堤 理佐子
----	----	----	------	-----	-------

【教科目標】

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

【使用教科書・教材等】

・教科書（「国語2」光村図書出版）・ワーク ・文法ワーク ・教科書（「中学書写二・三年」光村図書） ・ノート ・習字道具

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1学期	1、広がる学びへ 見えないだけ（詩） アイスプラネット（小説） 枕草子（古文） 多様な方法で情報を集めよう 「聞く生活」を考えよう 2、多様な視点から 生物が記録する科学（説明） 魅力的な提案をしよう メディアと上手に付き合うために（情報） 文法	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが伝わるように声に出して読む。 ・登場人物の関係を捉える。 ・作者のものの見方や感じ方を自分と比べる。 ・情報を集め、考えをまとめる。 ・説明のしかたの特徴を捉える。 ・興味、関心を引く提案をする。 ・メディアの特徴を知り、適切な情報を選んで活用する。 	教科書 ノート ファイル ワーク 文法ワーク
2学期	3、言葉と向き合う 新しい短歌のために（短歌・解説） 短歌を味わう（短歌） 言葉を比べよう（言葉） 言葉の力（随筆） 世界で一番の贈り物（物語） 二年一組のお薦め三十五冊（読書活動） 4、関わりの中で 盆土産（小説） 字のない葉書（随筆） 気持ちを込めて書こう モアイは語る（論説） 5、いにしへの心を訪ねる 平家物語（古文・音読） 扇の的（古文） 仁和寺にある法師（古文） 漢詩の風景（漢詩・解説） 書写	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌の世界に親しむ。 ・歌われている情景や作者の思いを想像する。 ・筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 ・構成や場面展開の工夫に着目する。 ・本に関する情報を多様な方法で収集する。 ・本に関する情報を多様な方法で収集する。 ・時間の経過や出来事に着目する。 ・心情の描き方に着目する。 ・相手や目的を考えて手紙を書く。 ・論の展開に着目して筆者の主張を捉える。 ・古文の言葉の響を捉える。 ・文章に描かれたものの見方や考え方に触れる。 ・作者のものの見方や考え方に触れる。 ・漢詩に歌われている情景を想像し、心情に触れる。 	教科書 ノート ファイル ワーク 文法ワーク 書写の教科書 習字道具
3学期	6、論理を捉えて 君は「最後の晩餐」を知っているか（評論） 話し合っって考えを広げよう 根拠を明確にして意見を書こう 落葉松（詩） 小さな町のラジオ発（ノンフィクション） 7、表現を見つめて 走れメロス（小説） 表現のしかたを工夫して書こう 科学はあなたの中にある（論説） 鍵（詩）	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読む。 ・表現のしかたに着目して読む。 ・筆者の考え方について自分の考えを持つ。 ・人物像の変化を捉える。 ・自分の知識や体験と比べて考える。 ・言葉の意味を考えながら、作者の思いを捉える。 	教科書 ノート ファイル ワーク 文法ワーク 書写の教科書 習字道具

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	国語への関心・意欲・態度	話す、聞く能力	書く能力	読む能力	言語（知識・理解・技能）
	20%	20%	20%	20%	20%
評価の観点の趣旨	・国語に親しみ、意欲的に学習しようとしているか。 ・主体的に授業に参加し、自分なりに考えを深めているか。	・必要な情報をしっかり聞き取る力があるか。 ・自分の意見や考えを相手に伝わりやすいように話すことができるか。	・自分の意見や考えを相手に伝わりやすいように正しく書くことができるか。	・文学的作品や説明文などそれぞれの内容に応じて正しく読み取ることができるか。	・漢字や語句の意味を理解し使いこなせるか。 ・文法を理解し、正しい日本語が使える。 ・書道（文字を美しく正しく書く）
評価の方法	・提出物（ノート） ・意味調べ、漢字練習 その他提出物・課題	・話す、聞くに関わる課題 ・定期テストの部分点	・感想文 ・定期テストの部分点	・定期テストの部分点	・定期テストの部分点 ・書写

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

・教科書をよく読みましょう。繰り返し読んで、しっかりと自分の考えや感想を持つことが大切です。
 ・新しい教材に入るときは、難語句を必ず調べておくこと。語彙を増やすことが国語力のアップにつながります。
 ・授業は受け身でなく、主体的に取り組みましょう。先生が投げかけた発問についてしっかり考え、自分の答えを持つようにしましょう。
 ・自分の意見や考えを、しっかりと言葉にし、相手に伝えていくようにしましょう。相手の意見を聞くことも重要です。
 ・ノートはしっかりととりましょう。黒板をただ写すだけでなく、大切だと思うことも書き込んでいきましょう。（メモをとることも大切です）
 ・ワークはしっかりとしましょう。忘れ物にも注意しましょう。
 ・文法は、問題をたくさんこなし、自分の理解を確認することが大切です。出された課題は完全にやりきりましょう。
 ・漢字練習はただ書くだけでなく、音読み・訓読み・部首・熟語などもあわせて覚えましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

・家庭学習で何よりも大切なのは、音読をしっかりとすることです。すらすら読めるまで、頑張りましょう。
 ・難語句の意味調べと漢字練習をしっかりとすることもたいせつです。特に漢字は反復練習をしましょう。
 ・宿題が出たら必ずやりましょう。（わからないときはそのままにせず、先生や友達に聞いたり辞書を活用したりして、工夫して解決しましょう。）
 ・国語力は授業だけで身に付くものではありません。日常的にさまざまなところで学習する機会があります。新聞を読む、本を読むなどもその大切な機会です。活字に親しみ、国語力をアップさせましょう。
 ・自己表現力も大切です。いろいろな場で自分の意見を積極的に発表し、表現力を高めましょう。